

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教 員 氏 名	
鈴木 陽子 先生	おすすめメッセージ
<p>① 図書名：ルース・バイダー・ギンズバーグ アメリカを変えた女性</p> <p>著 者：ルース・バイダー・ギンズバーグ, アマンダ・L・タイラー 翻 訳：大林啓吾, 石新智規, 青野篤, 大河内美紀, 檉尾洵, 黒澤修一郎, 榊原美紀, 菅谷麻衣, 高畑英一郎</p> <p>出版社：晶文社 ISBN：9784794972910</p>	<p>7月に沖野真巳氏が最高裁判所裁判官に任命されました。これで日本の最高裁判所の裁判官15名のうち4名が女性となりました。4名は多いでしょうか、少ないでしょうか、そんなものでしょうか。</p> <p>この本の著者であるギンズバーグ判事は、オコナー判事に続く2人目の女性として、1993年にアメリカ最高裁判所の裁判官に任命されました。リベラル派の判事として2020年に亡くなるまで性差別の撤廃に取り組んできました。この本はギンズバーグ判事の弁護士時代の訴訟の弁論や、最高裁の裁判官として書いた意見、そして講演などをまとめたものです。最高裁判所の裁判官のキャリアを弁論や判決から見てみませんか。</p>
<p>② 図書名：ピンクと青とジェンダー</p> <p>著 者：石井国雄, 田戸岡好香</p> <p>出版社：青弓社 ISBN：9784787235589</p>	<p>友人に出産祝いを贈ろうとした時、性別を前提とした色やデザインばかりで困った経験があります(結局、友人の好きな黄色のベビー用食器にしましたが)。そのとき、色と性別がつながっていることに少し違和感を感じましたが、そういうものかと思いました。</p> <p>ここ数年、ジェンダーのことを考える機会が増えました。その中でわかったことは、意識していないこと、当たり前と思っていることがらの中にこそ問題があるということです。</p> <p>この本でベビー用品に感じた違和感の正体が、データによって明らかになりました。同時に、ジェンダーのことを意識しているつもりでも見えていないことがある、そのことも認識させられました。</p> <p>著者のひとは地域政策学部の田戸岡好香先生です。</p>